

地域づくり推進計画って？

長房中学校区では、令和3年(2021年)に長房中学校区地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)を立ち上げ、地域が主体的に活動していくための計画として「長房中学校区地域づくり推進計画(以下「推進計画」という。)」を策定しました。長房中学校区の住民として、より住みやすい地域になるために、何が必要か、地域の力を合わせてできることをまとめました。

推進計画の策定にあたっては、推進会議での検討、地域で活動する団体や住民のみなさまにご参加いただいたワークショップやフォーラムを通じて、地域ぐるみで検討を進めました。地域の住民のみなさまに1人でも多く、本計画の趣旨や内容にご理解いただくとともに、今後の地域づくりにご協力いただきますようお願いいたします。

推進体制・計画の進め方

推進会議は、多世代・多分野にわたる地域の活動団体や住民のみなさまが参画することで、地域でやりたいことを実現していく『プラットフォーム』として機能していきます。長房中学校区の地域の活動団体や住民が横のつながりを持ち、協力し合い、地域づくりに取り組みます。

長房中学校区のありたい姿として掲げた「地域の将来ビジョン」の実現に向けて、地域の魅力や特徴を活かして、課題を解決していく必要があります。そこで、住民主体で取り組んでいく5つの分野のアクションプランを考えました。優先的に取り組むアクションプランを実行しながら、その他のアクションプランの検討、実現も進めていきます。

地域づくりへのご協力をお願いします

地域の将来ビジョンの実現を目指した持続的な地域づくりは、推進会議参加者に加えて、地域のさらなる担い手や協力者の力が必要です。長房中学校区に在住・在学・在勤の方、ぜひ地域づくりの取組にご協力をお願いします。一緒にみなさまが安心して楽しく暮らすまちにしていましょ。長房中学校区を盛り上げていきませんか。

長房中学校区地域づくり推進会議 令和〇年(202〇)年〇月 発行

問合せ先：八王子市 未来デザイン室

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24-1

TEL：042-620-7307 FAX：042-627-5939 E-mail：b620000@city.hachioji.tokyo.jp

長房中学校区の 地域づくり

長房中学校区地域づくり推進計画 概要版

地域の将来
ビジョン

長房中学校区の住民が考えた
身近なまちのありたい姿です

多文化・多世代がつながり

みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房
～みんなで描く幸福度の高いまちづくり～

地域づくりをはじめよう

「幅広い世代が交流できるようになるといいな」「身近に集まれる地域の居場所がほしいね」「まちの行事や取組を共有したい」「豊かな自然を守っていくために何ができるだろう？」

まちの皆さんが地域の魅力や課題について話し合い、こうありたいと思う未来に向けて主体的に取り組んでいく「地域づくり」を進めていきます。

長房中学校区 の地域づくり



長房中学校区は長房町の大部分と城山手の全域から構成され、八王子市西南部に位置しています。南浅川の北側に広がる丘陵地帯であり、船田石器時代遺跡と中郷遺跡の2つの遺跡があります。

平成13年(2001年)に選定された八王子八十八景に、長房中学校区から「多摩御陵」「多摩御陵のケヤキ並木」「浅川の桜並木」「南浅川橋」「南浅川の鯉のぼり」が選ばれました。「武蔵陵・多摩御陵」は東日本唯一の陵墓でもあります。

市民主体のお祭りも盛んで、長房ふれあい端午まつり、八王子いちょう祭りなど地域の特色あるお祭りが行われています。

長房の魅力・特徴

既存コミュニティ

- 季節のイベントやお祭りが多い
- 各団地の号棟ごとに自治会長がおり、町会活動が盛んである

良好な暮らし

- 自然と便利さ(買い物・病院等)が両立している
- 駅までのアクセスが良い
- のどかで住みやすい

地域施設

- コピオ長房の誕生により、住民が集う場所ができた

歴史・文化に関すること

- 東京陸軍幼年学校や船田石器時代遺跡など長房中学校区には古くからの歴史がある

自然・四季に関すること

- 山、川、桜並木などがあり自然豊かである
- 公園が多く、緑が多い

長房の課題

コミュニティの希薄化

- 新しい住民との関わりが少ない
- 高齢化などにより高齢者が孤立化してきている

交流機会・居場所の不足

- 多世代交流の機会や居場所が少ない
- 自治会に加入している人しか参加できないイベントがある

マンパワーや活動の担い手の不足

- 地域活動への参加方法が分からない
- 60代が地域活動から抜けている傾向にある
- 次世代の地域活動を担う人材が不足している
- 小中学校において地域の歴史などを知っている人材が不足している

施設整備の不足

- 学校など、身近に安全・安心に避難できる場所が少ない
- 街路灯や公園のトイレが少ない

情報発信・共有の不足

- 地域情報の発信をしているものの地域住民に伝わっていない
- 世代によって情報収集の媒体が異なるため、情報発信の工夫が必要である
- 若い世代は広報や閲覧板情報を見ないため地域情報が入手しにくい
- 個々の地域情報の発信には限界があり、連携して行う必要がある

災害時の対応

- 身近な避難場所が少ない
- 都営団地では高齢化もあり、在宅避難者が多い

長房中学校区の将来ビジョン

中学校区ワークショップや長房中学校区地域づくり推進会議の中で、地域住民が地域のありたい姿の検討を行い、将来ビジョン(目標)を掲げました。

多文化・多世代がつながり
みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房
～みんなで描く幸福度の高いまちづくり～

将来ビジョンに込めた思い

地域に住む子どもから大人、高齢者、外国籍の方まで、あらゆる人が、それぞれの距離感でつながりを持つことができる、安心して楽しく暮らせるまちを思い描いていきたいという思いから将来ビジョンを決定しました。

アクションプラン

【優先的に取り組むアクションプラン】

1

地域情報の発信力の強化

長房中学校区には、幅広い年代の方が暮らしており、情報の取得手段もさまざまであるため、得られる地域情報の量に差が生まれる、届けたい対象の方に地域情報が届かないといった問題が生じています。こうした現状から、より多くの方に適切に地域情報を伝えられるよう、これまでとは違った3つの方法による情報発信を行っていきます。

地域施設を活用して 長房の地域情報を発信する



- 地域内のさまざまな取組を定期的に発信する
- 多くの人が集まるコピオ長房と連携して情報発信する
- 地域のカラーを決めて、目につくデザインで発信する

SNS※を活用して 長房の地域情報を発信する



- 長房で SNS を運用して、地域情報の収集・発信をする
- これまで情報の届いていなかった人にアプローチする
- 地域の若者が講師になって SNS の使い方教室を行う

※ソーシャル・ネットワーキング・サービス

地域イベント・行事で 長房の地域情報を発信する



- 地域情報のマップやチラシをイベントや行事で配布する
- 若者視点で既存イベントや行事をアップデートする
- イベントや行事の運営の知恵・経験を次世代につなぐ

アクションプラン

2

地域コミュニティの活性化

アクションプラン

3

地域の担い手の育成

アクションプラン

4

地域の防災力の向上

アクションプラン

5

地域ニーズに応じた施設整備

※2～5のアクションプランについては、令和4年度(2022年度)に検討していきます。